

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第182号 2019年7月15日

だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



桶ヶ谷沼の夏の生き物たち



1



2

1 コシアキトンボ (全長 40～50 mm) 成熟した♂は池の岸に沿って行ったり来たりして、なわばりをパトロールします。♂同士が出会うと激しい争いが繰り広げられます。

2 チョウトンボ (全長 31～42 mm) ♂の翅は青紫色に輝き、♀は翅の着色部が金緑に輝く個体が多いです。♀の中には♂と同じような青紫色の個体 (♂型) もいます。

3 ハグロトンボ (全長 57～68 mm) 川に棲むトンボですが、時折、桶ヶ谷沼の観察路の日かげになった所でも出会うことがあります。写真は、桶ヶ谷川で見つけた時のものです。

4 モンキアゲハ 後翅表面に大きな白色紋があるのが特徴です。ミカン科の植物に集まり、ノアザミの蜜を吸います。

5 マメコガネ クズなどのマメ科の植物に集まります。

6 ヒメギス 前翅が短い型と長い型がいます。鳴き声は…



3

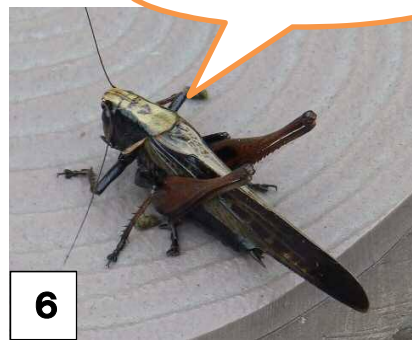
シリシリリー♪



4



5



6

まんようしゅう よ * 万葉集に詠まれた植物 その3 *



万葉集でつきくさ（月草・鴨頭草）と表記されているのは、現在の「つゆくさ」のことです。

「鴨頭草に 衣色どり 摺らめども
うつらふ色と 言ふが苦しさ」（作者不詳卷十七-1339）

歌意：つき草で衣を染めて摺りたいが、その藍色は変わりやすい色だというので、それがつらいことです。

この歌は、譬喩歌（相聞の情を詠んだ歌）に分類されています。「私は結婚しようと思いますが、あの人は心変わりしやすい人だということですから、それが辛いことです。」という気持ちが込められた女性の歌です。

万葉集に「つきくさ」は9首詠まれています。が、「つきくさ」で染めた衣の色が変わりやすいことから6首が「移ろふ」という意味で用いられています。

【出典：万葉植物事典～万葉植物を読む（北隆館）】

ツユクサは、夏の朝開いて昼頃にはしおれてしまう一日花（青色の花をつける）です。山野や道ばたなど、どこにでも自生しているはずですが、以前より見かけることが少なくなったように思います。古代から親しまれてきた野の花でもあり、大切にしていきたいですね。

** 6月のイベント報告 **

6月16日（日）に一般参加者とおけがや自然塾生の91人がアメリカザリガニ調査会に参加しました。ザリガニの生態や沼にいる外来生物の説明を聞いたあと、沼の4カ所でアメリカザリガニなどの水生生物を捕獲しました。その後センターに戻り、参加者で協力して種類や数を集計し表にまとめました。

（講師：NPO 法人桶ヶ谷沼を考える会 保崎有香さん）



自然とのふれ合いを

いろいろな工作教室

- * 日程 8月4日（日）9：30～11：30（受付9：00～）
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- * 内容 紙、竹、木の実などいろいろな材料で工作をします。
- * 持ち物 特になし
- * 定員 先着30名

家庭菜園の害虫とスズメバチのお話

- * 日程 8月11日（日）9：30～11：30（受付9：00～）
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- * 内容 家庭菜園の害虫とスズメバチに刺されないためのお話を聞きます。
- * 持ち物 特になし

※ どちらの行事も、どなたでも参加できます。（小学生以下は保護者同伴で）

※参加は無料です
申し込みは直接または電話、
FAXでビジターセンターへ